

2023年 4月 28日

電気自動車のリース市場と課題

電気自動車のリースに関する調査研究報告書

このたび、当協会において、電気自動車(以下「EV」と略します。)のリース市場、EVをリースで普及促進するための課題とその解決策を示した報告書を取りまとめました。

企業・官公庁の脱炭素に向けた取組が進められている中で、走行時に温室効果ガスを排出しないEVの導入ニーズが高くなっています。

6割の企業が自動車をリースで導入しており、脱炭素設備の一つであるEVの導入方法としてリースが注目されています。

当協会として、報告書を踏まえた政策提言を進め、EVの普及促進に貢献してまいります。

報告書のポイント

- EVのリース車は6,103台(保有台数 2022年3月末)
- EVと再生可能エネルギー発電設備等を含めた導入ニーズが高い

課題	解決策
充電インフラ ・急速充電設備数が少ない 8,265基(2022年3月末) (ガソリンスタンド 28,475給油所)	<input type="checkbox"/> 官民双方による急速充電設備の拡大 (補助金制度とこれを活用したリースの提案) <input type="checkbox"/> 駐車場オーナー等への急速充電器設置の提案
残価設定 ・中古市場がなく、残価設定したオペレーティング・リースの提案が困難	<input type="checkbox"/> 国内における循環モデルの検討(バッテリーの二次使用を含む) <input type="checkbox"/> 残存価格に関する情報の蓄積
メンテナンス・リース ・EVの整備工場が少ないため、自動車の点検・整備を付加したメンテナンス・リースの提案を進めにくい	<input type="checkbox"/> 整備工場におけるEV整備のノウハウを向上させる施策の実施 <input type="checkbox"/> 部品供給の安定化
車両価格 ・EVは同クラスのガソリン車と比べると車両価格が高額	<input type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出量削減等の価値を提供 <input type="checkbox"/> ランニングコストを含めたTotal Cost Ownership(総所有コスト)の提案

※本調査研究の対象としたEVは、バッテリーの電気のみを使用したモーターで走行するBEV(Battery Electric Vehicle)としています。

報告書は当協会ホームページに掲載しています。

<https://www.leasing.or.jp/studies/car.html>



【本件に関するお問い合わせ先:協会事務局 玉手・加藤 TEL03-3595-1501】